

1. 研究課題名

日本赤十字社医療センターにおけるヒルシュスプルング病の後ろ向き研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

小児外科では、新生児から、乳幼児、小学生、中学生までの、外科疾患を対象に診療しています。

小児の外科疾患は、先天性の奇形や障害、乳幼児の肺や胃腸、肛門の病気、臍・鼠径ヘルニア、良性および悪性の腫瘍、外傷などと多岐にわたります。

お子様には術後に長い人生があるため、将来の人生を考えた上での手術を行い、術後の機能や成長、傷の跡も含めて、長い期間にわたり、フォローアップしていく必要があると考えています。

こどもは大人のミニチュアではなく、からだが小さいというばかりでなく、からだの機能が多くの点で未熟である上に、病気の種類が大人と大きく異なるため、こどもの病気や手術には、成人領域の内科・外科とは異なる専門的な知識や技術が必要です。

従って、小児外科領域の疾患の診断法・治療法の開発は医学的、また医療経済上も急務の課題であり、これらの目的を達成するためには、様々な臨床研究が必要であります。

とりわけ医学的にも臨床的にも、個々の症例を詳細に解析・検討することが、今後の診断・治療法の確立のために重要であると考えられます。

本研究では、当科を受診(外来・入院含む)したヒルシュスプルング病の患児を対象として、臨床診断・病理診断などをもとに、検査所見・臨床経過・治療法の有効性や合併症、副作用を検討する包括的臨床研究を行い、今後の小児外科疾患の診断・治療法の確立に役立てることを目的としています。

本研究によりヒルシュスプルング病の実態解明と小児外科医療の向上に寄与することが出来ると考えております。

研究期間は承認日から2026年3月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2000年1月から2025年3月の間に、小児外科にて治療を受けられた方の診療記録/残検体を利用して行います。利用する情報は、治療時の年齢・性別・検査結果などで利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター小児外科に所属する研究者が本研究を実施し、本研究で収集された試料等を利用します。本研究は日本赤十字社医療センター内において実施され、病院内でデータの集計・統計解析を実施します。

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター 小児外科
尾花 和子

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、
以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることは
ありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：小児外科 高見 尚平